

サイ波動薬通信

www.vibrionics.org

病める人、打ちしおれた人、落胆した人、疾患に苦しむ人がいれば、まさにそこにあなたの奉仕の場があります・・・シュリサティアサイババ

第5巻 第6号

2014年11・12月

目次

☞ アガルヴァル博士の研究デスクより	1 - 2
☞ 処方例	3 - 7
☞ 実践者プロフィール	7 - 11
☞ 質疑応答コーナー	11 - 13
☞ マスターヒーラーからの御言葉	13
☞ お知らせ	13 - 14
☞ 編集者から	14 - 15

☞ アガルヴァル博士の研究デスクより ☞

実践者のみなさま

新しい形式の波動薬通信が始まりました。

89回目のバガヴァン・シュリ・サティアサイババの御降誕祭という吉祥の日に新たな形式のサイ波動薬通信を捧げることができることに感謝いたします。この吉祥の機会に、病める人や苦悩する人に純粋な愛をもって奉仕していく新たな決意の場としてまいりたいと思います。本通信は、ウェブ上のフォーマットを用いた初めてのもので、新たに、症例の部位ごとの検索が可能となります。

今のところ、この検索機能は、本通信に掲載されているものみに適用されますが、ゆくゆくは、文字列検索も可能となるよう、また過去の通信全てにまで遡って内容を検索できるよう機能を拡大していくつもりです。こちらのチームにとっても、そのための準備には時間がかかりますが、ご理解をお願いいたします。今回の新たな形式の通信がより有益で馴染みやすいものとなることを心より願っています。

実践者の多くの方々が、個人レベルで様々な記事や通信の向上発展に大きく寄与しています。愛のこもった奉仕活動には感謝しかありませんが、活発に活動されているさらに多くの実践者のみなさんがこの輪に加わっていただき、処方例やその他の記事を送ってくださいますようお願いしています。（処方例の内容の規定に関しては、本通信の中に記されているガイダンスを参照ください）

今後もこの通信を進めていくにあたって更なる進化を遂げられますよう、また、スワミの恩寵を受け続けられますよう努力してまいりたいと思います。

本通信に関するコメントをみなさんからお待ちしております。みなさんからのフィードバックをいただくことにより、我々のチームスタッフが新しい形式の通信について改善することが可能

となります。直接 news@vibrionics.org までご連絡ください。

更なる向上をサポートする記事と新たに掲載される項目

この波動薬通信が、みなさんの活動を支える上で、またサイ波動薬のコミュニティとしての絆を高める上で役立つことを願っています。この通信の目的は、実践者の方々が患者さんに対して最高位の愛を伴ったケアを行うことをサポートすることです。このことを念頭に置いて、次の2つのことをお知らせしたいと思います。

まず最初に、本通信を皮切りに、患者さんに対するケアをさらにサポートできるような記事を掲載していくことです。これらの記事は、折を見ながら、通信ばかりでなく波動薬のウェブサイトに掲載の予定です。

これらの記事は、私がよく質問されるテーマを網羅していて、多くの実践者のみなさんに役立てていただけたと思います。通信の中の「質疑応答コーナー」で取り扱うには紙面の都合上収まりきらないものを取り上げています。

これらの記事の目的は、現在入手可能な役立つ情報をよく吟味し、補足し、最新のものとするです。そのため、是非注意深く読んでくださるようお願いする次第です。

最初の記事は、「服用回数と服用量」です。波動薬ウェブサイトの「書籍・ビデオ・記事」の中の資料ライブラリーに収められていたものです。この記事の閲覧は実践者の方のみを対象としています。 www.vibrionics.org にログインすることでアクセスが可能です。

2番目には、「追加記事」

として新たな項目が、通信の最後の項目として追加されることです。この項目には、様々なテーマが含まれていて、波動薬のコミュニティを育んでいくような情報もあります。実践者の方々は異なった国や地域に住んでいます。しかし、地理的な分離がハートの分離を意味すべきではありません。

この最初の「追加記事」は、その目的を果たすべく、くしくも、北米・カナダのトレーナー及びコーディネーターからのものとなりました。この記事の中で、彼女はどのようにして地域の実践者を結びつけ、お互いに質問をし学び合うように促したかを説明しています。これは実践者のネットワークを築く一つの好例です。みなさんの地域でも有効に活用できるような他の方法もあります。実践者にとって重要なことは、質問に対する答えの源を持ち、より経験を積んだ実践者から学ぶことです。全ては患者さんの福祉のためにあります。このレポートはそれぞれの地域で実践者同士が結びつき合う方法と非公式の場でのサットサング（同じ目的を共有する人同士の集まり）の潜在的な便益について考える機会を与えてくれます。

サイ波動薬を紹介するビデオが、複数の言語で視聴可能となりました。

1月23日のババの降誕祭を記念して、「サイラムヒーリング波動薬とは何か？」と題するビデオが英語を含む13カ国語で視聴可能になりました。このビデオは今年の1月にプッタパルティで開催された第1回の波動薬国際会議の場で紹介されたものです。新たな翻訳は波動薬ウェブサイトの「書籍・ビデオ・記事」の中の資料ライブラリーに収められる予定です。

www.vibrionics.org にログインすることによってアクセスできます。

健康面での助言：菜食の価値

最後に、ラジオサイに最近掲載された優れた記事、菜食の価値、パート1 & 2をご紹介します。この記事は、サティヤサイババの重要な教えである、菜食の大切さを伝えています。また、肉食による健康や環境への悪影響に関しても明確な説明がなされています。この記事を読まれて、患者さんの食生活の向上に役立てて行ってください。

サイの奉仕の中で
アガルヴァル・ジット

処方例

1. 膵臓癌 10251...インド

80歳の女性が米国在住時に、激しい胃痛と食欲不振に約1年間苦しんでいました。2014年にムンバイの娘さんを訪ねた時に、医療診断を受けたところ、驚いたことに膵臓癌の進行が進んでおり第IIB期（統計数値として5年間の生存率が5%）に至っていました。腫瘍の大きさは5cm x 2.6cm

で、代謝活性値（投与された薬物や異物が体内で代謝を受けることにより化学構造が変化し薬理作用や毒性が現れたりする傾向の値）は3・3でしたので手術は不可能でした。治療として19回の放射線治療と経口化学治療が行われました。医師によれば、そのような治療から得られる最良の結果として可能性のあるものとしては、代謝活性を1.5まで小さくすることによって癌の進行を遅らせることですが、病気の経過に関する見通しは優れていませんでした。治療の後、患者さんは気分が落ち込み、体調もよくありませんでした。この時点で、以下のレメディが処方されました。

CC2.1 Cancers-all + CC2.2 Cancer pain + CC2.3 Tumours & Growths + CC4.7 Gallstones + CC12.1 Adult tonic + CC15.1 Mental & Emotional tonic...一日6回

このレメディを1ヶ月服用した後は、気持ちに余裕ができ体力も徐々に回復してきました。焼け付くような胃の痛みも軽減され、2014年7月までには通常の状態に戻りつつあることが感じられ始めました。2014年7月に行われたPET（positron emission tomography：陽電子放出断層撮影）スキャンの結果は劇的でした。医師の報告によると、患者さんの腫瘍は縮小しており、代謝活性はゼロを示していたのです。ニューヨークに戻ってから2014年9月に追跡調査のためのCTスキャンが行われましたが、結果は前回インドで行われたスキャンの内容と変わることはなく、代謝活性の停止が確認されました。8月には、第2型糖尿病の診断を受け、症状を抑える経口薬が処方されました。10月に行われた3回目のCTスキャンによって体内組織全般にわたって代謝活性が見られないことが確認されました。この朗報を受け、担当の医師によって2ヶ月毎のスキャンを受ける必要がないことが告げられ、診察回数もまた少なくなりました。10月の時点で、一日4回レメディの服用は継続されています。

患者さんのコメント

レメディのおかげで劇的に回復することができ、とてもありがたく思っています。スワミの大きな恩寵に感謝いたします。」

2. 喘息 02799...英国

62歳の女性が重度の喘息の治療を求めてやってきました。彼女は40年以上も喘息を患い、現在、一日に4回のステロイドの吸引を行っています。2014年4月1日に以下のレメディが処方されました。

CC10.1 Emergencies + CC15.1 Emotional & Mental tonic + CC19.1 Chest tonic + CC19.2 Respiratory allergies + CC19.3 Chest infections chronic + CC19.6 Cough chronic + CC19.7 Throat chronic...一日4回を1ヶ月間、その後は一日3回

4週間の治療の後、50%の改善が見られ、ステロイド吸引も一日2回に軽減することができました。5週間後の2014年5月8日、患者さんの来訪があり「ステロイド吸引を止めたこと、完全に回復したと実感していること」との報告がありました。そうした経過にはありましたが、長年にわたる喘息の病歴に鑑みて、半年間は一日2回、その後は生涯にわたって一日1回を継続することが望ましいことが実践者によって伝えられました。現在も彼女は喜んで服用を続けています。

3. 便秘・消化不良・カンジダ^{11966...インド}

2014年8月15日、2歳半の男の子が1年半続いている慢性の便秘と消化不良の治療を求めてきました。胃の痛みでほぼ毎晩のように夜中に起きて泣くほどの状態でした。両親は対症療法の薬を何度か試しましたが、改善されることはありませんでした。以下のレメディが200mlの水に処方されました（それぞれのコンボは1滴ずつ）

#1. CC4.1 Digestion tonic + CC4.4 Constipation + CC4.10 Indigestion + CC12.2 Child tonic...一日3回

3日後には、便秘と消化不良の症状は無くなり、またその子の食生活も変化しました。それ以前はビスケットとチョコレートを多く食していましたが、ビスケットを食べなくなり、砂糖の摂取が減ったのです。また、肛門の周りにカンジダ炎を発症する傾向もあり、5cm大の斑点がよく発症しました。彼は過去数ヶ月この皮膚感染症を患っていたため、腸内のカンジダ菌の増殖によって彼の身体の持つ解毒の力が失われていると、実践者は判断しました。そこで、レメディは以下のように変えられました。

#2. Combo #1 + CC12.2 Child tonic + CC17.2 Cleansing + CC21.7 Fungus...一日3回

レメディを作るための水の量もまた200mlから400mlに増やされました。2, 3日するとカンジダ菌の感染はなくなり、2週間後には皮膚は通常の状態に戻りました。

4. 関節炎と硬直^{03112...ギリシャ}

18歳の男性が全身の関節のこわばりと指と足のしびれを訴え、彼には手足を曲げることも伸ばしたりすることも難しい状態でした。実際、彼は、身体を動かす時、関節が軋むような音が聞こえ、老人のように感じる、とも言っていました。この状態は数ヶ月続いていましたが、医師の診察は受けていませんでした。以下のコンボによって治療が始められました：

CC20.1 SMJ tonic + CC20.2 SMJ pain + CC20.3 Arthritis...一日3回

驚いたことに、服用したその日に痛みとしびれは無くなりました。それ以来、身体の調子は良好であると彼は報告しています。2014年10月現在、上記のレメディは予防のために継続して服用されています。

5. 心霊的攻撃, 結膜炎^{03112...ギリシャ}

17歳の青年が2つの問題を抱えていました。2年間大きな不安感に苛まれ、目に見えない存在からの攻撃を受けていると感じ、よく眠ることもできませんでした。この問題に対して、医師による治療を受けたことはありませんでした。また、10年間、慢性の結膜炎を患っており、彼の目は赤くただれかゆみもありました。この症状のために何年間もコーチゾン

《副腎皮質ホルモンの一種、

関節炎・アレルギーなどの治療剤》の服用が続けられる中、最近、ホメオパシーも試されましたが、その治療も行き詰まり、以下の波動薬が処方されました：

心霊的問題:

#1. CC15.1 Mental and Emotional tonic + CC15.2 Psychiatric disorders...一日3回

結膜炎:

#2. CC7.3 Eye infections + CC20.1 SMJ tonic...一日3回

上記のレメディの服用は2014年1月25日に始められ、すぐに良い反応が得られました。一日の服用が終了した後、夜は起きることなく眠れるようになり、心霊的攻撃についての怖れもなくなりました。2日間の服用の後、目も通常の状態に戻りました。

6. 乗り物酔い, 下痢、吐き気^{11965...インド}

波動薬の奉仕活動を初めてまもない頃、初めての奇跡を体験したのは、2014年4月18日にケララからの7名の方がデリーを訪れる途中、訪問を受けたときのことでした。移動や外食が続く中、7名全員が胃腸不良と絶え間ない吐き気を訴えていました。私はすぐにレメディを用意しました:

CC4.6 Diarrhoea + CC4.10 Indigestion + CC17.1 Travel Sickness... 10分に1回口に含む

彼らは最初、レメディを服用することに少し躊躇していましたが、ようやく7名のうち4名が服用を始めました。1時間後その4名は、服用しなかった他の3名に比べて体調が良くなりました。2時間後には、服用した4名は完全に回復し、買い物にも出かけられる状態でした。一方、他の3名はまだ辛い状態が続いていました。波動薬を摂った4名の変容を見て、残りの3名もレメディの服用を始めました。全員が回復するまで3時間かかりましたが、その後はお祝いの夕食となりました。

7. 口内炎、おりもの、線維腺腫¹¹⁹⁶⁴...インド

2014年4月16日、24歳の女性が複数の健康問題を抱えてやってきました。彼女は顔色も悪く衰弱していました。腹部に刺すような痛みと絶え間ない吐き気も経験していました。彼女の担当医は腸閉塞もしくは腸結核の疑いがあると見ていて、8日間の腹腔鏡検査法を用いた手術の実施を予定していました。前の年の2013年7月にも同じ症状で入院したことがありましたが、症状は慢性的なもので、幼少時に重度の肺の病気を患った後、12歳から腹部の痛みと吐き気を断続的に患っていたのでした。加えて、全身のだるさや仕事に関連したストレスと口内炎が1ヶ月間続いており、おりものにも2年間悩まされていました。以下のレメディが処方されました。

ストレス、手術を受けるに当たっての準備:

#1. CC10.1 Emergencies + CC15.1 Mental & Emotional tonic... 一日3回を3日間

口内炎:

#2. CC11.5 Mouth infections... 一日4回を3日間

おりもの:

#3. CC8.5 Vagina & Cervix... 一日4回を3日間

上記のレメディの服用の後4日目には、ストレスは50%口内炎は25%それぞれ改善し、おりものは10%の減少が報告されました。その後も服用は続けられ、更なる改善が見られました。10日目には、ストレスは100%なくなり、口内炎は75%改善され、おりものは20%減少しました。前もって予定されていた通り、腹部の癒痕(はんこん)組織の切除のため腹腔鏡検査法を用いた手術を受けました。5月3日には、彼女は病院での治療の続行を止めましたが、この時点で波動薬は18日間服用しており、虚弱は感じていましたが気持ちの上では元気でした。口内炎とおりものは服用後10日目からの更なる改善は見られなかったため、5月4日にレメディは以下のように変更されました:

手術後のケア、口内炎:

#4. CC10.1 Emergencies + CC11.5 Mouth infections... 一日3回を1週間

おりものと虚弱:

#5. CC8.5 Vagina & Cervix + CC12.1 Adult tonic ... 一日3回を1週間

レメディが上記のように変わってから、症状は改善されました。服用後1週間経って、口内炎は75%良くなり、おりものは25%軽減されました。2週間後には、口内炎は90%無くなり、おりものは半分に減りました。3週間後(5月25日)口内炎は完全に無くなり、おりものは75%減少しました。口内炎が治癒されたため、この時点から、服用回数は2週間にわたって徐々に少なくし(#4については最初の週は一日2回、2週目は一日1回) その後は服用は無

しとしました。しかしながら、おりものに対する治療は続けられました。その結果、4週目5週目には90%の軽減、6週目には95%の軽減、7週目（6月22日）には完全に無くなりました。おりものがなくなった後、3週間に渡って徐々に服用回数を減らし（最初の週は一日2回、2週目には一日1回、3週目には1週間に3回）その後は服用は無しとしました。6月の終わりには、患者さんの体重は元に戻り、外見的にも健康で元気になりました。ところが、患者さんの問題はまだ終わったわけではありませんでした。ほかの病気が見つかったのです。5月25日に受けた胸部の生体組織検査によって、肉芽腫の伴わない良性の線維腺腫と診断されました。

処方されたレメディは以下の通りです:

#6. CC2.3 Tumours & Growths...一日4回を2週間

症状を見守りながら服用はさらに2週間続けられました。病原体による感染が起こっていないながら、明瞭な症状が顕れないままでしたが、5週間の服用の後、服用回数は徐々に減らされ、#6...一日2回を2週間

その後週3回を2週間、2014年7月27日から再発防止として週1回を続けること、としました。

8. 関節炎 ^{02915...イタリア}

39歳の女性がひどい痛みを伴う関節炎を右肩に3ヶ月間患っていました。痛みはひどく夜眠れないほどでした。波動薬を知る前には、痛み止め、抗炎症薬、マッサージ、レーザー治療を試してみましたが、あまり変化はなく、2014年1月10日に以下のレメディが処方されました:

NM24 Rheumatism & Arthritis + NM59 Pain + NM113 Inflammation + OM4 Cervical + SM28 Injury + SM36 Skeletal + SR284 Chelidonium + SR295 Hypericum (30C) + SR503 Ligament ...一日3回

5日間の服用の後、痛みは79%軽減しました。10日後には完全に痛みは無くなりました。さらに2ヶ月間の服用の後、一日2回から一日1回そしてゼロと服用回数は徐々に減らされました。好転反応は見られず2014年9月現在、再発も起こっていません。

実践者のコメント:

患者さんも私も波動薬の結果にとっても満足しており、感謝の気持ちで一杯です。

9. 蓄膿症, 鼻詰まり, くしゃみ ^{02799...英国}

6歳の男の子が過去1年間、慢性の鼻詰まり、蓄膿症、くしゃみを患っていました。医師によって処方された点鼻液ではほとんど効果が見られませんでした。2014年6月21日以下のレメディが処方されました:

くしゃみ:

#1. SR520 Phrenic Nerve...水に溶かしたものを一日1回、

蓄膿症, 鼻詰まり:

#2. CC12.2 Child tonic + CCC19.1 Chest tonic + CC19.2 Respiratory allergies + CC19.5 Sinusitis...一日3回

3日間の服用の後、母親からくしゃみが止まったとの報告がありました。1ヶ月後には、鼻詰まりと蓄膿症も完全に癒されました。再発防止として、#2について服用回数を一日2回にして続けていくよう伝えました。2014年10月現在、服用は継続されています。

10. 壊疽, 糖尿病 ^{02494...イタリア}

プラシャンティニラヤムにいるあいだ、実践者（夫婦のチーム）はイタリアにいる古い友達に電話しようと思ひ立ちました。その友人は以前大変病んでいて、しばらく連絡が取れていなかったののでどうしているか様子が気になったのでした。その友人は64歳で糖尿病を30年間患っており、インシュリンの摂取に頼らざるを得ない状態が続いていましたが、当時、自身では病気に真剣に向き合っておりませんでした。実践者が電話をした時、彼は危機的な状態にありました。糖尿病からの合併症として壊疽が引き起こされており、右足の親指はすでに切断されていました。他の指も壊疽になりかかっている、感染が骨まで浸透しているがために、1週間以内に、右足の膝下を切断しなければならなくなるであろうと言われていました。彼は寝たきりの状態で、熱もありました。医師の治療によっては回復の望みがないことから自暴自棄的で厭世的な気持ちでもありました。それ以前にも波動薬が勧められたことはあり、その時の彼の態度は頑なでしたが、今回、再度、二人は遠隔による波動薬の処方の実施の許可を求めてみました。そして、彼の返事はイエスだったのです。電話を切る前に、実践者はコンボを用意して翌朝に始めることを約束しました。実際、その時点で夜は遅く、二人は疲れてもいました。しかし、電話を切ってから、友人の厳しい病状を思い起こし、翌朝まで待つことなくすぐさま以下のレメディの準備に取り掛かりました：

NM6 Calming + NM21 KBS + NM32 Vein-Piles + NM36 War + OM3 Bone + BR11 Kidney + SM15 Circulation + SM17 Diabetes + SM26 Immunity + SM27 Infection + SM29 Kidney + SR293 Gunpowder + SR316 Streptococcus + SR457 Bone + SR501 Kidney + SR556 Pyrogenium

二人はスワミに祈り、2007年12月8日11:30PMに遠隔を始めました。10分後二人は再び彼に電話をして、すでに遠隔を始めたこと、そして何か変化があったら教えてくれるように、と頼みました。まもなく彼は、数分で痛みがなくなったと驚きと歓びの声で伝えてきました。熱もまた引きました。実践者はそのことを信じられない気持ちでしたが、それは真実だったのです。遠隔療法はその後数日間、上記のコンボをマシーンにいれたまま24時間途切れることなく続けられました。患者さんの足は毎日に改善し続け、1週間後に検診を受けたところ、医師は驚きながらも、足の切断の必要性がないことを認めました。

実践者のコメント：

私たちがイタリアに戻って彼に会ったところ、彼の足はほぼ完全に良くなっていました。彼は糖尿病についても砂糖粒のレメディで処方し続けてくれるよう頼んできました。彼が波動薬の効果を理解してくれたことに私たちはとてもうれしく感じました。ただ残念なことに、彼の規律の欠けた生活と服用の遵守に対する一貫性の無さによって病気は完治には至りませんでした。数ヶ月後に、心臓発作によって彼は亡くなりました。彼はスワミからの恩寵という大いなる機会に気付くことはありませんでした。「神は自ら助けるものを助く」という諺を思い出します。不運なことに、今回と似たような多くのケースで、愛と叡智によってレメディが処方されたとしても、患者さんの側で、服用の規律がないばかりにうまくいかないことがあります。

実践者プロフィール

実践者プロフィール 10717...インド

個人的体験

私はインドのアターラカナダ地区でバルヴィカスのコーディネーターを務めています。こちらには、75のサミティ・バジヤングループと110のバルヴィカスセンターがあります。子供達と共に歩む教師としての役割、トレーニングプログラムの開催、試験の実施、センターの訪問など様々な貴重な機会を与えられています。以前はBSNL（州立の電話会社）に勤めていて、定年まであと11年もあったのですが、自分が健康でエネルギーに満ち溢れているときにスワミの使命に関わる活動に参加することがお金よりも重要だと考えました。人に知られることも宣伝されることも欲していません（このプロフィールはカルナータカ州コーディネーターによって推奨されました）。スワミに満足してもらえらる仕事を行っているかどうかを気にしています

。私はまた、シュリサティヤサイセヴァオーガニゼーションの仕事に向き合い、スワミから与えられた責任を果たすことにも忙しくしています。そのような状況の中で、あまり多くの波動薬の奉仕活動はできていませんが、求めてくる方が自宅に来られた時は喜んで活動しています。

処方例

不妊に関する幾つかの症例に接することができました。最初の患者さんは結婚後10年の主婦の方で、2009年9月9日にやってこられました。ご主人は運転手の仕事をされていて、二人には子供が授からず、5年間、二人は様々な産婦人科医からの治療を求めましたが、受胎することなく、希望が薄れていくにつれて彼らは大きな喪失感に苛まれていました。私はスワミに心の底から二人に子供が授かるよう祈り、一人は妻、もう一つは夫用に次の2つのレメディを用意しました。妻:

#1. CC8.2. Pregnancy tonic... 一日3回

夫:

#2. CC14.3 Male infertility... 一日3回

また、1リットルの水に**CC10.1 Emergencies**

を2滴混ぜ水でのレメディを処方しました。二人には、上記の砂糖粒のレメディに先立って、波動薬の治療を開始する日の早朝にこの水に転写したレメディを2分の1カップ摂取するよう依頼しました。こうして、9月10日に波動薬の服用が開始されました。4ヶ月間服用は続けられ、2010年、1月中旬、奥さんが喜びの涙と笑顔でやってこられました。受胎の知らせでした。彼女の主治医は妊娠2ヶ月であることを確認しましたが、彼女には出産まで流産の予防として一日2回の服用を続けるように伝えました。そして、スワミの恩寵により、2010年8月27日に健康な女の子が無事出産されました。この患者さんはとても小さな村に住んでいて、この女性の嬉しいニュースは瞬く間に広がり、不妊に悩む多くの夫婦の心を捉え、彼らは彼女に会って、私の住所を聞き出し、私に会いに来たのでした。その後、12組の症例に接することになり、そのうち、4組が成功裏に終わりました。

2010年10月8日、最初の夫婦の子供が生まれた6週間後、29歳の女性がレメディを求めてやってきました。彼女は看護婦で、画家の夫と結婚して8年になっていました。夫は酒浸りで肉体的にも虚弱でありながら、医師の診察を頑なに受けようとしないうちに、妊娠の希望もなく彼女は落胆していました。私はこの症例を引き受けてくださるようスワミに祈りました。妻と夫用にそれぞれ上記の#1と#2（一日3回）を処方するとともに、夫のアルコール中毒に対しては、1リットルの水に3滴の**CC15.3 Addiction**

を用意し、彼が#2の服用を始める前に10mlのレメディ水を毎日朝早く服用するよう彼女に伝えました。こうして、この夫婦の波動薬の治療は10月9日に始まりました。6ヶ月も経たないうちに、夫の酒量は90%減りました。4月末までには、妻に妊娠の兆しが見えました。妊娠が確認された後も、妻は#1の一日3回の服用を続け、夫は#2を**CC15.3 Addiction**

（一日3回）に変えて服用を続けました。美しい女の子の赤ちゃんが誕生したのは2011年12月24日のことでした。赤ちゃんが生まれたこと、そして夫が減多なことではアルコールに手を付けなくなったことで、妻は幸せで輝いていました。夫もそれまでのストレスや緊張が解れとても幸せそうでした。スワミはこのようにしてこの夫婦を祝福されたのです。

2010年10月15日、上記の女性の訪問を受けてから1週間後、子供のいない夫婦がやってきました。36歳の妻と38歳の夫は14年間の結婚生活の間に、子供を授かるために様々な種類の対症療法を受けてきていました。その女性は過去2回、24歳の時と28歳の時にそれぞれ妊娠しましたが、いずれも流産していました。妻と夫用にそれぞれ上記の#1と#2（一日3回）が処方されました。1年以上の服用の後、2011年11月の最終週に、夫から、妻が妊娠したとのニュースが届けられました。その後も、妻には#1の服用を出産までそのまま続けるように伝え、全てが順調に行っていたのですが、出産の局面でへその緒が胎児の首に巻きつい

てしまい、死産となってしまったのです。悲しい出来事でしたが、スワミにしか知ることのできない状況があるのでしょうか。

ごく最近の処方例としては、今年の始め（2014年1月22日）、夫に関して悩んでいた33歳の女性のケースがあります。夫は性的不能でしたが、恥ずかしくて治療を求めることがありませんでした。医師からは彼の精液は濃すぎて出てくることができないと告げられて、彼は劣等感に苛まれ、性行為に対する関心を全く失ってしまったのです。このような内情を打ち明けながらも、彼女は今世では子供を授かることはできないと話しながらたくさん涙を流しました。私は彼女を慰め、神の恩寵があれば何事も可能である、と言って心を強く持つように励まし愛を注ぎました。夫には2つのレメディを準備し、感情面での対応として、**CC15.1 Mental & Emotional tonic**

を1リットルの水に3滴混ぜ、毎朝この水を10ml夫が服用するように伝えました。それに加えて、**CC14.1 Male tonic + CC14.3 Male infertility...一日3回**

の処方を行いました。2ヶ月の服用の後、その女性は夫が性行為に関心を持つようになり精液の滞りについても改善が見られたとの報告がありました。6ヶ月間の服用の後の7月17日、彼女は自身が妊娠したという嬉しいニュースを伝えにやってきました。夫も一緒に感謝の気持ち伝えてくれました。新たな家族の到来の予定は2014年12月でした。一方、夫は波動薬の服用を止めてしまいました。それでも妻は肯定的で、「身体的関係は別としても、夫はとても協力的で明るく接してくれています。赤ちゃんを授かることができたので、それは神の恩寵ですし、それだけで満足しています。」と知らせてくれました。

2014年1月28日、前述の症例を受けるほんの数日前、もう一組の夫婦（妻28歳、夫35歳）が私を訪ねてやってきました。二人は7年間赤ちゃんを求めていました。夫は床屋さんを営み、妻は主婦でした。彼らは貧しく、医師の治療を受けることもできなかったのです。彼らは神に対する信仰が厚く子供を授けて下さると信じていましたが、何年もの時間の経過と共に、彼らの信念も揺らぎ波動薬を求めてきたのでした。妻と夫用にそれぞれ上記の#1と#2（一日3回）を処方しました。4ヶ月間の処方後、妻の妊娠が確認されました。彼女は#1のレメディを一日3回、2015年1月の出産予定日を目指して継続して服用しています。

最後になりますが、関連した症例として我が家で飼っている猫についてお伝えします。2011年12月に1歳半の猫が最初の出産を迎えるところでした。彼女のお腹は大きくなっていて、2、3日は身体全体がとてもだるそうで、日中も睡眠が続いていました。ある朝のこと、彼女は苦しい声を出し、食べ物を口にできなくなりました。その日に子猫が生まれるのだと、私は思いましたが、2日経っても彼女は苦しそうな声を出すばかりで、ミルク以外のものは何も受け付けませんでした。手の施しようもないまま、ある考えが浮かびました。プラスチックのボウルに30mlのミルクを注ぎcc10.1を1滴とヴィブーティを少し加えました。そして、スワミに彼女の様態が良くなるように祈ったのです。猫はそのミルクを飲み、2時間以内に3匹の可愛い子猫を産みました。

オームサイラム

実践者プロフィール 02864...米国

個人体験談

私はインドで生まれ育ち、1993年に米国に移住しました。現在、夫と2人の息子とイリノイ州のアーバナシャンペーンに住んでいます。心理学と経営管理の学位を持ち、昨年ニューヨーク、バッファローから今の場所に移り住むまで放射線技師として働いていました。

私が最初に波動薬のことを聞いたのは2012年のことで、バッファローサイセンターのある帰依者の方から知らされました。その夏、私は背中



を抱えており、波動薬実践者に連絡を取りました。郵便でレメディを受け取り、真珠のような粒を服用し始め、すぐに痛みは和らいだのです。その後、同じような症状で悩んでいた夫も波動薬を服用することを決めました。服用後数日で二人とも背中がなくなり体調が極めて好転したことは奇跡でした。その時私はスワミに祈りました。もし、私がこの奉仕活動を行うことがスワミの意思であれば、是非ともその恩寵をください、と。数ヶ月後、実践者養成コースが米国で初めて開催されることを聞きました。私は、再度、もし私がこのコースに参加することがスワミの意思であるならば参加させてください、とスワミに祈りました。すべてが順調に収まって、私は2012年10月にジュニア実践者訓練コースを終えることができました。現在まで2年以上の経験を積ませていただき、コンボによってレメディを処方し、バガヴァンの限らない恩寵によって、背中が痛み、膝の痛み、膝の手術後のケア、高熱、胃炎、胃酸過多、ストレス、湿疹、睡眠時無呼吸症候群、下肢静止不能症候群、癌に対して、また植物・動物についても奉仕を行うことができました。スワミはまた、北米とカナダ地区の活動コーディネーターという栄誉も与えて下さりました。その活動の一つにすべての実践者からの月次レポートを回収し、アガルヴァル博士にそのデータを提出するというものがあります。その中で、報告書提出のお知らせとともに、コモンコンボボックスの適切な保管、レメディ容器内のアルコールの乾燥防止、その他の実践的な事柄に関する情報を毎月実践者の方々に発信してきました。また、砂糖粒や容器その他の必需物資も届けています。波動薬の実践活動を背後から支える体験を積ませていただいているのは祝福に他なりません。今の役割のおかげで気持ちに肯定的な緊張感を維持できています。そして何よりも、この奉仕活動は私自身の信仰と確信を強化し、ババの愛を通して人類全体が向上するというとても希望を与えてくれています。スワミの祝福によって、私は2014年にインドを訪れ、第1回波動薬国際会議に出席することができました。この会議の後、私はシニア実践者コースの受講を完了し、遠隔によって家族を含め他の人々の奉仕を行っています。遠隔によってレメディの波動を送ることは、特定の患者さんだけでなく、その家庭そしてサイラムヒーリングマシンの周りの全ての人々など多くの人にとって助けとなるものです。私にとってサイラムヒーリングマシンはスワミからの素晴らしい祝福であり贈り物で、いつも有効に活用するようにしています。通常私は、マシンに**SR179 Peace & Love Alignment** のカードを常に入れておくようにしています。

このおかげで、家族は引越しの大変な時期を乗り越えることができ、10代の子供たちは転校先の新しい高校にもスムーズに慣れ、家族全員が新天地に落ち着くことができたのだと思います。

奉仕活動を振り返って

スワミの教えは神を愛する最善の方法はすべての人を愛しすべての人に奉仕することであるということです。奉仕は人に内在する偉大な資質を引き出してくれます。奉仕によってハートは大きくなり、視野が広がり、喜びに満たされ、一体性が促され、本当の自分が何であるかを知ることにつながっていきます。さらに、奉仕をすることで人の中の悪い性質が追い払われていきます。神との一体性に気づく方法には瞑想、ヨガ、バジャン、ナマスマラナ（神の御名を唱えること）など、ほかの手段もありますが、波動薬を奉仕活動として実践する時、私たちは身の周りの人々の幸福を切望し、自らには何も求めずに奉仕を捧げます。スワミの愛を形の見えるものとして波動薬レメディを処方することで、実践者はスワミの愛と祝福を謹んで世界中に広げていることになるのです。

植物への処方

第1回波動薬国際会議の冊子にも報告させていただきましたが、2013年8月に遠隔地への引越しがあつて傷んでしまった様々な種類の観葉植物の件に関して最新の出来事を交えてお伝えしたいと思います：

CC1.2 Plant tonic + CC15.1 Mental & Emotional tonic... 1週間に3回、水で



Fern, August 2013



On right, October 2013



On right, October 2014

2ヶ月の処方の後、植物は回復し元気になりましたが、その後も、1週間に2回継続的にレメディを与え続けました。最も大きな

な植物は大体6-8カップ、小さめの植物は2カップの水が1回に処方される量でした。1年以上経過すると、植物は鮮やかな緑を保つようになり、大きさもほぼ2倍にまで成長しました。特にシダの写真を見ていただくとその違いが一目瞭然です。この植物は引越して最も傷みの激しかったのですが、2013年8月に引越し先に落ち着いてから2ヶ月後の10月そして1年後の2014年10月の写真です。



Corn plant, August 2013



October 2013

また、ドラセナフラグランス（コーンプラント）にも特に大きな変化が見られました。毎年実を付けるのですが、ジャスミンのような甘い香りを放ちます。昨年（2013年）は全く、実をつけることはなかったのですが、今年（20

14年）は大きな実をつけ、香りもより甘く強くなりました。下記の写真は、シダと同様に、2013年8月に引越し先に到着した時、それから2ヶ月後の10月、更に1年後の2014年10月のそれぞれの様



In bloom, October 2014



Second view, October 2014

質疑応答コーナー

1. エボラ熱の予防と治療のためのレメディはありますか？

予防としては以下のものとなります:

CC3.3 High Blood Pressure + CC3.5 Arteriosclerosis+ CC9.3 Tropical diseases + CC19.7 Throat chronic

...朝と夜の一日2回,

既に罹患している場合には、血液ノーズードが適切です。

2.

西ナイル熱に対するコンボがあればありがたいのですが、この症状は熱帯病として捉えてよろしいのでしょうか？

西ナイル熱はウイルス性の病気で様々な種類の蚊によって媒介されます。今年は、特に洪水の被害によって流行しました。レメディとしては以下の通りとなります：

CC9.3 Tropical diseases + CC18.5 Neuralgia

病後の回復のためには、上記のコンボを服用回数を減らして摂取してください。

3. 現在急速に子供たちの間で流行しているエンテロウイルスD68に対するコンボを教えてください。

エンテロウイルスはピコルナウイルス属、ライノウイルスの一種で、人に通常の風邪を引き起こす原因となります。このウイルスに罹患すると急速に症状が悪化し、緊急入院と人工呼吸器が必要となります。呼吸に困難があれば、**CC9.2 Infections acute + CC19.3 Chest infections chronic** を処方することを勧めます。発症の怖れのある場合には、予防的なものとして大人にも子供にも**CC9.2**を処方します。この病は熱帯病ではないので、回復の段階では大人には**CC12.1 Adult tonic** を、子供には**CC12.2 Child tonic**を処方します。

4. タイプ2型糖尿病に対するコンボ**CC6.3 Diabetes**（糖尿病）の中に、**SR305 Pancreatin**（パンクレアチン）と**SR499 Insulin**

（インシュリン）が含まれていないことに気づきました。インシュリンを摂取している糖尿病患者さんに対してこれらのカードを活用されたご経験はありますか？

はい、これらのカードは**CC6.3 diabetes**の中には個別の形では含まれてはいませんが、**OM8 Hypo & Hyperglycaemia**と**BR2 Blood sugar**

の中にそれぞれ含まれているので実質的にそれらを網羅しています。（ソーハム第3巻に内容が詳しく記されています）

5.患者さんの中に昼食を取るととても疲れてしまう人がおられます。食後すぐに腸の動きが活発になり、時々寝てしまいたくなるとのこと。しかしながら、勤務中であるためにそれは難しく、このことについて助言をいただけますか？

原因として、食事の中にアレルギーを引き起こす食べ物が含まれていることが挙げられます。そしてそれは、しばしば、例えばチーズやお肉など大好きな食べ物である場合があります。そこで、食事の内容をチェックし、エネルギーを与えてくれるのではなく疲れを催すような特定の食物を探し出し、それを食事から排除すべきです。あるいは、贅沢な食事のせいで肝臓に負担がかかりすぎている可能性もあります。その場合には、バター、ギー、牛乳、チーズ、オイル、脂肪、アルコールの摂取を控え、より質素な食事をすべきでしょう。肝臓が回復したら、通常の食事に戻っても構いませんが、アルコールはどちらにしても日中は無理だと思います。食事に対しこのような注意を払いながら、**CC4.1 Digestion tonic + CC4.2 Liver & Gallbladder tonic**を処方することで症状が緩和されるかもしれません。

6. 水に溶かした波動薬が余って残ってしまったとき、どのようにしたらよいでしょうか？

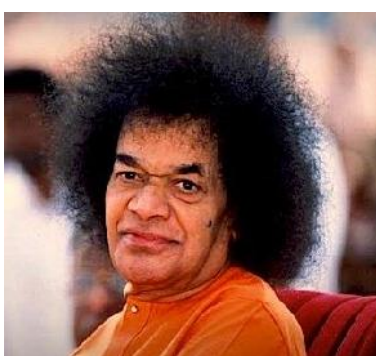
水を媒体とした波動薬レメディはその有効性は一定の時間に限られたものとなります。水は数日経つと劣化してしまい、バクテリアが繁殖しがちだからです。ですから、水を媒体とした、あるいは水に加えたコンボやレメディは7日以上（気温が高い場合には日数は更に少なくなります）はその効力を保つことは難しいのです。また、その保管にあたってはきちんと蓋をするようにしてください。

7. 水晶に波動を転写する一連のやり方について教えてください。

もし1枚のカードによって波動を水晶に転写する場合には、通常の一連の手続きを行いながら、水晶をレメディの堅穴に12時間入れておきます。また、複数のカードによって転写する場合には、最初は10枚を超えない範囲で行ってください。そのようにして用意されたコンボをサンプルの堅穴に置き、30cで転写します。水晶への波動転写にあたっては、108のコンボは用いないようにします。また、転写の前には、水晶は浄化しておきましょう。1時間、10MMのポテンシーで可能ですが、日光や満月の光に1時間晒すことによっても同じ効果が得られます。

転写された水晶は一日3回、一回10分は身に付けるようにします。もし、ずっと水晶を身に着けている場合であれば、その水晶は4ヶ月間は波動を保つことでしょう。

ババの御言葉



いかなる状況にあっても愛を見失ってはなりません。たとえ、誰かに憎まれたとしても、その人に対して兄弟のように接しなさい。もし、道で出会ったとしても、怒りを表すのではなく、愛を持って挨拶しなさい。あなたの愛は必ずやその人の中に変容を起こすことでしょう。

サティヤサイババ, サナタナ・サラチ, 2004年1月

全ての人にとって最も重要な義務は、神の愛を全ての存在に向けて流すようにすることです。全ての人々が、自分自身のために生きているのではなく、社会に奉仕をするために生きています。身体に対する関心を手放すことが自己実現への道となります。全ての存在に純粋な愛を示すことがなければ、あなたが人として生まれてきた意味がどこにあるのでしょうか？

サティヤサイババによって唱えられたテルグ語の詩, サナタナ・サラチ, 1996年10月

ワークショップ開催予定

❖ インド、**ダルマシェトラ, ムンバイ**: アシスタント波動薬実践者トレーニング

2014年11月29、30日 連絡先: サティシュ, メール satish281265@yahoo.com
電話022-2876 8883

❖ インド、**デリー首都圏**: 全ての実践者の方々の参加 12月7日

シニア波動薬実践者ワークショップ2014年12月1-9日
連絡先: サンギータ, メール trainer1.delhi@vibrionics.org

❖ **インドケララ州 カサラゴッド**: アシスタント波動薬実践者トレーニング
2014年12月 連絡先: レジェシュ メール sairam.rajesh99@gmail.com 電話8943-351
524 / 8129-051 524

❖ **英国 ロンドン**: アシスタント波動薬実践者トレーニング 2015年
1月3-4, 連絡先: ジェレム jeramjoe@gmail.com 電話 020-8551 3979

❖ **米国、マサチューセッツ州**
レキシントン: アシスタント波動薬実践者トレーニング, 2015年1月9-15日: 連絡先スー
ザン、メール Trainer1@usa.vibrionics.org 電話 304-274-0477

講師のみなさんへ: ワークショップ開催のスケジュールが決まりましたら、詳細を
99sairam@vibrionics.orgまでお送りください

インターネット電話会議を用いた相互サポートの体験

実践者^{01339...}米国

地域の実践者をサポートするために会議電話を使つての体験をご紹介します。何かのご参考になるかもしれません。2012年に北米及びカナダの地域コーディネーター兼トレーナーの役割を引き受けた時、実践者の方々をサポートするいい方法はないかと思っていました。その年の10月、アシスタント実践者トレーニングのクラスを終えたばかりでしたが、参加者の皆さんはとても献身的でした。実際の活動が始まると、私は彼らから質問を受けるようになり、しかも、同じような質問が何回ともなく繰り返されました。そこで、全体にとって時間を節約する最良の方法は皆が一同に会せるよう会議電話を利用することだと感じたのです。1999年にこの奉仕活動を始めた頃の自分自身の体験についても思い巡らせました。その頃の私は、この活動に対して腰が引けていました。質問が湧いてきても米国では助けを求める人は誰もいなかったのです。こうした自身の体験に照らし合わせて、新たな実践者の助けとなれるようなサポートを行うことを決めました。最初のトレーニングセミナーが終わって2週間後に電話会議を行いました。2週間に1回の割合で2ヶ月間続けるのです。その後は、1ヶ月に1回の割合で1年間行い、2013年の8月に終了しました。最近また、参加者からの要請でこのグループ会議を2014年9月に再開しました。この会議が有益で、疑問が解消される良き場である限り、毎月継続していきたいと考えています。以下、この電話会議をどのように行ったかを記してみます。私の用いたのは無料の会議電話サービスである<http://freeconferencecall.com>でしたがスカイプやその他の通信会社のものも活用できると思います。まず、eメールで北米とカナダ在住の実践者に会議電話への招待をし、どのようなものでもいいので質問があったら送ってくれるよう依頼しました。前もって質問を手元に控えておくことは重要でした。会議の前にリサーチをしたりあらかじめ文章にしたためておくこともできるからです。また、会議では質問の出所は伏せるようにしました。一定の時期が来ると、実践者全員がこの電話会議に参加してお互いの話を分かち合うことができるようになりました。参加の際にはファーストネームで呼び合い、時間は厳格に1時間で区切りました。質疑応答フォーマットを用いて、波動薬の実践の側面に関する質問について回答する形をとりました。例えば、一般の人からの波動薬についての問い合わせの受け答えや患者さんとの連絡やコミュニケーションを取り合う要領などです。しかし、特定のレメディの組み合わせや特定の症例に関しての質問に関しては、グループ全体に対するものとしては不適切であると感じているため、回答を控えています。ただ、電話会議を離れて、個別に直接尋ねられた場合には、答えるようにしました。緊急でない質問がこの電話会議には適しています。質疑応答の時間が終了して、時間が余るようでしたら、その他の質問やレメディに関しての一般的な質問、あるいは、症例記録の付け方、そして最も重要なものとして、無条件の愛の導管としての私たちの役割などについて話し合います。また、電話会議

の中で行われるグループでの情報の分かち合いの時間は価値があり、興味深く、参加者にとって様々な気づきがあるものであった、との声が多く聞かれました。会議の後には、まとめられた質疑応答の内容がサイ波動薬通信での近い将来の掲載候補記事として通信の編集者宛送付されました。毎月定期的に行われる会議電話は参加者にとって有益なものとなり、私にとっても、効率的により多くの実践者を助けることができ、全体として、助けを必要とする人に対して無私の奉仕を行うことに意識の焦点を当てることができる貴重な集まりとなっています。

ジェイサイラム！

🌀重要なお知らせ: 全ての実践者のみなさんへ🌀

送っていただいた処方例は素晴らしいものが多いのですが、送付された情報の中に重要な項目が欠けているため、その全てをみなさんと分かち合えていないというのが現状です。そこで、以下の事柄を必ず明記して下さいますようよろしくお願いいたします:

患者さんの年齢、性別、処方開始日、急性症状の詳細、慢性症状の詳細、それぞれの症状の発症期間、慢性症状の原因として考えられること、過去および現在受けている治療、処方したコンボと服用回数、時系列による改善の記録（100分率等での表示）、最終的な状態、その他関連事項
以上の項目が網羅されることで将来の波動薬通信に掲載することが容易となります。

ウェブサイトはこちらです。 www.vibrionics.org

実践者専用コーナーへのアクセスには実践者登録番号が必要となります。Eメールアドレスが将来変わる方はできるだけ早くお知らせください。

この波動薬通信は患者のみなさんとも分かち合っていてかまいませんが、患者さんからの質問は、直接、実践者のみなさんから回答くださいますようお願いいたします。ご協力ありがとうございます。

ジェイサイラム

サイ波動薬...誰にでも手の届く卓越した無料の医療へ